



国際会長主題 「私たちは変えられる」(Yes, we can change)
 アジア太平洋地域会長主題 「アクション」 (Action)
 東日本区理事主題 「為せば成る」 (No challenge, No fruit)
 東新部部長主題 「ワイズの楽しみは、今、そしてこれから」
 クラブ会長主題 「クラブライフを楽しもう」

Moon Sang Bong (韓国)
 田中 博之 (日本)
 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)
 神保伊和雄 (東京むかで)
 朝倉 正昭 (東京世田谷)

Enjoy your club-life!

会長 朝倉 正昭
 副会長 松井 直樹
 書記 太田 勝人

2018年10月会報

強調テーマ

* EMC/E *

Y's Extention Support

会計 寺門 文雄
 直前会長 寺門 文雄
 担当主事 岡田 ナスカ

プログラム

- 司会 張替 滋夫 君
- 開会点鐘 朝倉 正昭 会長
 - ワイズソングとワイズの信条 一同
 - 今月の聖句朗読と食前の祈り 松井 直樹 君
 - ゲスト&ビジター紹介 朝倉 正昭 会長
 - 会 食
 - 卓話 **ゼロマラリア達成のために、日本からできること**
長島 美紀さん
 - ハッピーバースディ 1日 川嶋 良子さん
17日 峰 毅 君 19日 張替 滋夫 君
22日 朝倉 正子さん 30日 朝倉 正昭 君
27日 岩崎 晴美さん 28日 岩崎 弘 君
 - 結婚記念日 該当者なし
 - ニコニコ献金
 - 諸報告
 - 閉会点鐘 朝倉 正昭 会長

↑今月の聖句

言(ことば)の内に命(いのち)があった。
 命(いのち)は人間を照らす光であった。
 光は暗闇の中で輝いている。
 暗闇は光を理解しなかった。

In him was life and the life was the light of men.

The light shines in the darkness, and the darkness has not overcome it.

ヨハネ 1章4節~5節 (松井 選)

※ 10月例会プログラム

とき 10月19日(金) 18:30~20:30

ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F

電話 03-3420-5361

9月のデータ	会員在籍	15名	例会出席者	9/21日	9月のBF 切手 0g 現金 0円 累計切手 0g	ニコニコファンド 9月 6,594円 年度計 33,589円
	出席率	87%	会員	10名		
	メネット	1名	メネット	1名	東京世田谷ワイズメンズクラブは 2017年10月31日 社団法人日本 キリスト教海外医療協力会に年会費 10,000円を納入し継続しました。	JOCS累計 使用済み切手と併せて 注: JOCS 献金記録の掲載 すずらん会やコミュニティコンサート ではかねてよりJOCSへの応援を行って いる。 使用済み切手とワンコインの 献金など。
	メイキャップ	3名	ゲスト	2名		
	ゲスト	2名	ビジター	4名		
	合計	20名	合計	20名		
	第2例会	9/27日(木) (10名出席)	すずらん会参加者	9/27日(木)		
	朝倉、岩崎、太田、小川、 小原、川嶋、寺門、張替、 松井、村野、		ゲスト	51名		
			スタッフ	13名		
			合計	64名		

※ 本日のメインプログラム

本日は日本で唯一のマラリア根絶を目指す、認定 NPO 法人 Malaria No More Japan で、ご活躍されている長島美紀さんに、ノー モア マラリア運動の世界的な規模での活動についてお話いただきます。皆様もご存知の通り、我々世田谷クラブも微力ながら、この運動の応援をさせて頂いています。

長島さんのご説明から我々がこの運動へより理解を深め、さらなる応援につながればと思います。

(朝倉 記)

◎長島美紀さんプロフィール

認定 NPO 法人 Malaria No More Japan 理事、(一社)SDGs 市民社会ネットワーク 業務執行理事 1977 年、東京生まれ。大学ではジェンダーを理由とする難民問題を取り扱う。

—早稲田大学 Ph.D.—

外務省 NGO 調査員、早稲田大学助手、一般財団法人 mufef 事務局長などを経て現職。Malaria No More Japan ではキャンペーン業務、広報、支援事業を担当。

※ 9 月例会報告

南センターを代表してお二人のリーダーから今期前半の活動報告を拝聴した。

早稲田大学建築学科 1 年在学中で 15 年前に YMCA でのキャンプ体験を持つ大和英理加さんは、山中湖の YVLF に参加。グループ討議を通じて、YMCA にできることは何か、望ましい居場所とは、あるべきリーダーの役割 etc. 多くのことを学ぶ中、結論として、難しくなるいっぽうの社会情勢のもと、組織としても個人としても世の中の変化にいかにか柔軟に対応できるかが大切と感じたとのこと。建築学徒らしい瑞々しい感性としっかりとした話の組み立てが印象に残った。

山下舞さんは教育学専攻の昭和女子大 4 年生。2 年時より活動に参加のベテラン。夏季は山中、道志、他 5 つのキャンプ+年長・年少 2 つのデイキャンプなど精力的に参加、初めての幼児宿泊体験の難しさを味わいながら、赤城アドベンチャーでは 4 年生として初めてのプログラムリーダーをこなし、子供と共に楽しむことの大切さを改めて学んだとのこと。10 余名の仲間が真剣に傾聴する中、ワイズ諸氏からも暖かい励ましとアドバイスを飛び出し、ちょっぴりの緊張感と一体感があまった実り多き報告会であった。お二人の資料準備とご尽力に心か

ら敬意と感謝を表します。川島シェフお手製の、例年とは一味違う、“ココナッツ”入りカレーには、リーダーのみなさんも大満足だったのでは。

(張替 記)

「世田谷クラブの 9 月例会感想」

大和 恵里香 (たたみリーダー)



フォーラムについて報告をさせて頂くにあたり、とても緊張していましたが、ワイズの方々が温かく聴いてくださったことで、緊張しつつも楽しみながら報

告をすることができました。最後には激励の言葉もかけていただき、とても嬉しかったです。またリーダーたちにも報告ができ、さらに自分の中でフォーラムについて整理して、テーマである「ユースボランティアリーダーに求められていること」を考え直す機会にもなりました。

フォーラムで得たことを忘れず、これからも頑張っていこうと思います。このような報告の場を設けてくださり、本当にありがとうございました。

山下 舞 (くるとんリーダー)



今回は少し緊張もしましたが、皆様が優しく見守って下さり、自分のペースで話することができました。この夏の悩みや自分の課題に関してもお話しましたが、

その後たくさんのアドバイスや激励のお言葉をいただき、これからのリーダー活動の中でもさらに自分を高め、成長していけるように頑張っていこうと思えることができました。

今回このような機会をいただき、自分自身この夏を振り返るきっかけになったり、課題に対してどう向き合っていくか考える機会になったりと勉強になる時間となりました。ありがとうございました。

※ 第 2 例会報告

日時：9/27 (木) 15:00~17:30

場所：経堂緑岡教会

出席者：朝倉、岩崎、太田、小原、小川、川嶋、寺門、張替、松井、村野の計 10 名

打合せ事項：

- ① 10 月のブリテン内容決めと担当者割り振り
原稿締め切り：10/5、印刷日：10/9 (火)



15:00より

- ② 9/23-24 仙台にて開催された北東部部大会と仙台クラブ 70 周年記念式典に参加された小原ワイズより話を聞き、内容を傾聴した。
- ③ 寺門・松井ワイズが世田谷区社協が推進する「介護福祉の会」に参加され、その動向を拝聴。その中の一つとして“心のケアと世田谷クラブのCS活動である音楽との結びつき”の可能性を伝えられ、今後の進展をみる事とした。
- ④ 11月の卓話：YMCA 総主事をお招きして、「Yサービス」について YMCA 側が意図していること、ワイズ側が理解し思っていること等を議論する例会とする。小原ワイズに一任。
もやもやしている点をクリアーして日頃の活動が理念に合致しているか、ベクトルは合っているか、確認する例会とする。
今月も有意義な第2例会であった！

(太田 記)

※ 新クラブの設立経過報告

先期より東新部エクステンション委員長を拝命し、(仮)町田地域ワイズメンズクラブ設立を目指して7月に開催した東新部第1回評議会にて意気込みを発表しました。

今月10月にて第6回目の「準備例会」へと積み重ねて来る11月18日(日)「設立総会」を開催して皆様にご報告し、チャーター申請をワイズメン国際協会(本部：スイスのジュネーブ)に行う段階になりましたので皆様にご報告申し上げます。

「設立総会」のご案内詳細について委員一同準備中ですので早急にお知らせ致します。

ワイズの経験者として私が長くお世話になりました世田谷クラブから新クラブに転入し、東京YMCAから諏訪治邦さんが担当主事として参加が決まりました。

新しいメンバー候補者20名から参加者は7-8名になりますが、総勢10名内外にてスタート致します。7-8名の皆さんはそれぞれお仕事をされている現役中ですので、例会は土曜日になる予定です。

どうか皆様、物心両面より新クラブをお支え、励まして頂ければ幸いです。重ねて、世田谷クラブ在籍中は皆さんに大変お世話になりました。有難うございます。

(太田 記)

※ チャリティーランに参加して

9月23日、去年とは打って変わって晴天のもとチャリティーランが今年も開催されました。始まる前、走るメンバーで目標を話し合いました。その結果、全体順位は去年の29位以上、タイムは1人5分半としてトータルで33分を目標とすることになりました。スタート前には普段の運動不足で不安な人、コースの下見をして意外となんとかなりそうと気が楽になった人、逆に不安になった人などがいましたが、和気藹々と過ごしていました。

レースが始まってからはあっという間に時間が過ぎていきました。張り切ってウォーミングアップをし過ぎたことが祟って後半はとてもキツイ思いをしましたが、沿道からの応援もあって無事に皆走りきることができました。それぞれ自分が走り終わった後も互いのことを応援し、その結果全体順位は**23位**、**タイムは30分11秒**と見事どちらもとも目標を達成できました。



1日を通して、みんなで協力し、目標を達成して喜びを共有することで仲をより深めることができました。

守屋 厚志 (ごんべえリーダー)

※ 国際協力街頭募金

今年も9月15日(土)JR新宿駅周辺にて実施されました。開始時点では強い雨が降っていたものの次第にお天気も回復し、13時から17時の4時間にわたり予定通り呼びかけを行うことができました。

当日、東京YMCAの各コミュニティーセンター、学校、幼稚園をはじめ各拠点から集まったボランティアは総勢196名。様々な年齢と国籍のボランティアが、新宿駅東口、西口、南口の街頭に立ち、声を合わせてBangladeshの子供たちへの支援を呼びかけました。

ワイズメンは東口に集まりました。町の人の反応は今一で、こどもの募金箱には子供連れの人が入れてくれますが私たちの募金箱には寄ってきてくれません。災害続きの今日この頃、Bangladeshでは訴える力が弱かったようです。しかし当日寄せられた募金総額は213,467円となりました。世田谷クラブからは朝倉、岩崎、小原、張替、太田と村野が参加しました。

(村野 記)

※ 北東部部大会 &

仙台クラブ70周年に伺う

9月22日(土)仙台駅前、AER・アエルビル28階で北東部部大会が開催された。

涌澤博北東部部長(仙台青葉城クラブ)は個性的なクラブが多い部をまとめて来年に開催されるアジア太平洋地域大会に向け、準備を進めています。多くの方々の参加をと力強いアピールをされた。

ひきつづき、会場を隣に移し、1948年誕生を祝う仙台クラブ70周年記念式典に。オープニングに、軽快なお囃子に合わせ、はっぴ姿のスズメが乱舞する「仙台スズメ踊り」で賑やかにスタート。

被災地への歌の出前でお世話になった、石巻広域クラブの清水さん、阿部安子さん、桜井美智子さん、にもお会いし、多くの方々との再会に会話も弾み有意義な時を過ごし、横浜から仙台クラブへ移籍された岡久雄さん(大正14年生まれ)にもお会いでき、フィナーレでは、阿部さん、桜井さん達と腕を組んで「故郷」を熱唱される、お元気なご様子、こうありたいと思いながら、国際・交流事業主任の娘・史奈子と帰途につきました。

(小原 記)

※ 会長通信 1810

私事で恐縮ですが、今年になってから、私にとっては、大変ショッキングな事を体験しました。

私は今年の10月30日で、齢を重ねて満76歳になります。日ごろ、健康に留意し、毎日約1時間程度歩いていますし、生活習慣を乱さぬよう、暴飲暴食は、努めてしないように心掛けております。それもこれも、80歳までは私の趣味であるスキーを、続けられるようにと願っているからです。

ところが私にとってショッキングな事なのですが、今年になって電車の中で3回、席を譲られたのです。譲ってくださった方は、いずれも40才を過ぎた妙齢のご婦人でした。私は自分自身で席を譲ってほしいというような態度は間違っても取っていないと思っています。いずれの時も、すぐ降りますから結構ですと丁重にお断りしました。そのあと、自宅に戻ってからすぐ、鏡の前に立ち我と我が身を見直してみました。そこで気が付いたのは、普段は自分には見えていなかった、顔の皺やたるみ、そうです。いわゆる加齢の現象が見えたのです。そうなんです。道を歩いていて今まで人に追い越された事がなかったのに、追い越されるとか、本を読んでいて夜になると細かい字が読み難くなったとかの、いわば予兆はあったのです。自分が気がつかないうちに自分に変化が生じているのです。事ほど左様に変化を自覚するのは、難しいのだと感じました。

日ごろ自分の座右の銘として、刻々と変化する社会の変化をとらえ、それに対応する事で、自己の向上、強いでは、社会の進歩に貢献する事が出来ると信じていたのです。そこで私が考えたこと、もしくは反省したのは、年を取るというのはただ単に、肉体的に年を取るという事だけでなく、自分は言うまでもなく、周囲の変化に疎くなるという事ではないかと思ひ至りました。

年を取ると、ともすると今までの自己の経験や、やり方を是とし、人の言う事が耳に入らず、結果的には物事に対して柔軟性を失い、唯我独尊に陥ることが多くなるのではないのでしょうか。私は、このことは私個人だけではなく、組織や団体でも同様な現象がみられるのではと思います。成長する個人、あるいは団体や組織は、日常の変化を的確にとらえ、今まで問題と考えられていた事柄を、どう解決するかを考え、問題を好機と捉えて対応してきたのではないのでしょうか? やや大袈裟かもしれませんが、3回のショッキングな体験から、以上のような考察に至った訳です。回りくどく私事をくどくどと書き

綴った事お許しください。

(朝倉 記)

※今後の卓話予告

11月 企画中

12月 緑岡教会の増田牧師をお招きして
クリスマス祝会とオークション

※今後のスケジュール

10/7(日) 11時過ぎ 十勝ジャガイモ南センターへ

10/9(火) 15:00 10月ブリテン印刷

10/12(金) 下北沢すずらん会

10/13(土) 13:00~17:00 東新部部大会

YMCA 東陽町・社体専

10/15(月) 15:00~YMCA 国際委員会 本部

10/17(水) ボラセン歌の広場 三茶

10/19(金) 第一例会

10/21(日) 11:30~ 南センターバザー

小学生による鼓笛隊パレード

10/25(木) YMCA すずらん会 第2例会

11/9(金) 下北沢すずらん会

11/17(土) 13:30~東新部第2回評議会 東陽町

※ YMCA NEWS

イベントの秋です。国際協力街頭募金、チャリティーラン、ソフトボール大会、南センターバザーと盛り沢山です。その中でも、南センターとしての年に一度のビッグイベントがバザーです。今年も会員、ワイズ、リーダー、リーダーOB OG、スタッフが一丸となって楽しく、賑やかな1日にしたいと思います。今年のテーマは「きてみて広がる南のWA!」です。地域の方や今までYMCAを知らなかった方もバザーに来てもらい知ってもらう機会として、そしてすでにYMCAで繋がっているWAをより一層広げていこう! という願いが込めてリーダーたちの発案で決まりました。

気持ちの良い季節にぜひ南センターに足を運んでいただけたら幸いです。お越しをお待ちしています!

【東京YMCA・南センター 今後の予定】

10/8 第35回会員ソフトボール大会

(出版健康保健組合大宮運動場)

10/14 南センター幼児定例野外活動バスハイク

(マザー牧場)

10/21 南センターバザー (南センター)

10/24-26 第20回STT (ソウル・台北・東京

YMCA指導者協議会) (ソウルYMCA)

10/28 南センター小学生野外活動 (高尾山)

11/15 YMCA・YWCA合同祈祷週礼拝

(東京YWCAカフマンホール)

11月17-18 YMCAキャンプ100年記念

シンポジウム (山中湖センター)

11/23-25 第20回日本YMCA大会

(日本YMCA同盟東山荘)

2/5 西日本豪雨災害復興支援チャリティーゴルフ

(レイクウッド総成カントリークラブ)